

令和4年1月

魚津市定例記者会見



日時：令和4年1月4日(火) 午後1時30分～午後2時00分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、NHK、KNB、
NICE-TV、

市当局出席者：市長、情報広報課長

1. 新年あいさつ

- ・あけましておめでとうございます。令和4年は魚津市制70周年の記念すべき年になる。魚津市議会12月定例会冒頭の提案理由説明でも申し上げたが、魚津市の財政健全化目標の前倒し達成が視野に入ってきた。新しい年はコロナ対策に全力で取り組みつつ、夢のある新たな取り組みに挑戦をし、市民の皆さんに希望を持ってもらえる年にしたい。

2. 市長からの発表事項

(1) 魚津市ふるさと寄附 令和3年12月末時点の実績について

- ・令和3年12月末時点では、件数が10,328件で前年比の約1.2倍、金額が3億6900万円余りで前年比約1.7倍となっている。平成25年と比べると件数は300倍、金額は40倍になっている。また12月の1カ月に限ると令和2年が1億5000万円、令和3年が1億8600万円となっており大きく伸びている。
- ・令和3年の市の取り組みとしては、受付WEBサイトを1つ増やして8サイトとし、返礼品の数も573品に増やした。件数の多い人気の返礼品はシロエビの刺身やシャインマスカット(ぶどう)、伝統工芸品の魚津漆器など。さらに直近の取組としては事業者と共同の商品開発やセミナーの開催などを行い、地場製品の付加価値の向上に努めている。

(2) 魚津市制施行70周年記念事業の概要について

- ・現在計画策定中の事業もあるため、アウトラインだけ説明したい。大きく分けると3つになる。
- ・1つ目の区分は式典。市制施行70周年記念式典を令和4年4月16日に新川文化ホール大ホールで開催する。併せて「70周年を振り返る記念写真展」を同ホールの展示ホールで同時開催する。
- ・2つ目の区分は恒例イベント・行事の拡充。コロナ禍でここ2年開催できなかった行事についてしっかり準備していきたい。第40回しんきろうマラソン（4月24日）、よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり（5月14日・15日）については日程が確定している。しんきろうマラソンの招待ランナーは谷口浩美さんの予定。よっしゃ来い!!CHOUROKUまつりは、14日の宵祭りをミラージュランドで、15日の本祭りを魚津駅前通りで開催する予定。
- ・じゃんとこい魚津まつりについては、例年8月第1週の金～日曜日に設定されているが、令和4年は3日間の開催を行うのか、それとも短縮するのか。花火大会については、50周年の時はスターマインを2回上げ、60周年の時は尺玉を60連発で上げた。今回の70周年では花火の量を増やすのか、それとも質を上げるのか。詳細は実行委員会で検討中。魚津産業フェア〇〇魚津については10月の開催を予定している。
- ・3つ目の区分は70周年記念事業として特別に行う事業。
- ・まずは自然、文化、伝統等のすばらしさを再認識し、市内外への発信を目的とした事業。第17回新川森林祭（5月28日）は、魚津市で開催された第68回全国植樹祭の5周年を記念するイベント。蜃気楼フォーラム（6月11日・12日）は、例年開催している全国の蜃気楼研究者による研究会を一般市民の方にも開放して開催するイベント。埋もれ木サミット（10月1日）は、埋没林を保存展示している博物館（島根県大田市、仙台市）と連携して行うイベント。日本風景街道大学・北陸風景街道交流会議in魚津（10月28日・29日）は、NPO法人の日本風景街道コミュニティと連携し全国のサイクリストが魚津に集まり、地域活性化策を話し合うイベント。
- ・次に次世代を担う子供たちを対象とした事業。みらパークを拠点に年間を通じて親子が楽しめる記念事業と、フリーランスのママたちのイベント「cocomama カーニバル（仮称）」については、現在詳細を検討中。
- ・次はスポーツイベント。パナソニックのラグビーチーム「ワイルドナイツ」の合宿については、9月18日（日）～23日（金）の5泊6日で調整中。日本代表選手を含む約60名の関係者が魚津で合宿する。期間中は公開練習やスポーツ少年団と中高校生を対象としたラグビークリニックを開催予定。（※パナソニックとのスポー

ツ連携協定は令和2年7月に締結。ラグビークリニックは平成28年から令和2年を除いて5回開催されている。1月16日に熊谷ラグビー場で開催されるワイルドナイツのホーム開幕戦で魚津をPRする予定。) 富山湾岸サイクリング2022(4月17日)については、スタート・ゴール地点に魚津市が選ばれた。ありそドームがメイン会場となる。180Km・130Km・80Km・ファミリーコース(50Km)の4コースが設定され、1500人程度の参加を見込んでいる。

- ・最後に地域活性化、まちのにぎわい創出として「復活バル街&えきてん」(10月～11月)を計画している。バル街は平成30年まで秋に開催されていたがその後休止している。コロナの状況を見ながらではあるが、地域の消費喚起のためしっかり進めていきたい。

(3) 魚津駅前 あつマルシェ!!の開催について

- ・魚津駅にぎわいづくり推進協議会が、富山県消費喚起プロジェクト支援補助金を活用して、地場製品の消費拡大や魚津駅前の賑わい創出をはじめ、魚津市への誘客PRを目的とした「魚津駅前 あつマルシェ!!」を開催する。日時は1月28日(金)の17:00から。場所は魚津駅前の短時間駐車場。なお、コロナ感染状況や大雪の影響によっては、2月10日(木)または2月11日(金)への順延も検討する。イベントの内容は、地酒・新酒・紅ズワイガニの販売や観光名所・温泉・旅館の紹介ブースの設置など。

(4) 市役所窓口でMiraPayが使えるようになりました

- ・MiraPayについては、7月の発行以来利用の普及を図っているが、令和4年1月4日からは市役所の市民課・税務課・図書館の各窓口で証明書発行手数料の支払いに活用できるようになった。なお、スマホアプリ版のMiraPayのみが使用でき、カード版は使用できない。MiraPayカードの交付枚数約8,000枚のうちアプリ版のダウンロード件数は1,847件に留まっているので、今後も周知に努めたい。

(5) 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト

1月に開催する「親子体験会」はこちら!

- ・春から7つのコース(各3回)で1年間にわたり行ってきたが、いよいよ今年度が最終回となる。「やさい(ハウス野菜)」のコースで1月22日の10:00から魚津市川縁のゆかり営農組合で「白ねぎ」の収穫と出荷作業の体験を行う。この取り組みは好評のため今後も続けていきたい。

3. 質疑応答の内容

「財政健全化」について

《記者からの質問》

財政健全化とは財政調整基金に10億円の積み立てができることを指すのか。それはいつ頃までにできるのか。また前倒しが可能となった要因は何か。市税はコロナの影響を受けなかったのか。あと財政健全化達成後のことについては何か考えているか。

《回答》（市長）

このペースで行けば令和4年度末には財政調整基金残高10億円が達成できる見込み。要因としては、まず事業の見直しや特別会計の繰り出しの平準化が出来たこと。その上に歳入（税収）が余り落ちなかったこと、ふるさと寄附（納税）などの自主財源が確保できたことなどがある。市税については、元々法人税などの所得課税額が占める割合は大きくないことや、市内企業の大規模設備投資により固定資産税額が増加したこともあり、コロナによる影響分はある程度カバーできた。財政健全化達成後については新たな財政計画が必要だと考えている。

「ふるさと寄附」について

《記者からの質問》

ふるさと寄附の件数が前年比1.2倍なのに金額が前年比1.7倍と大きいのはなぜか。

《回答》（市長）

1件当たりの寄附額が多くなっている。要因としては株桑山さんからの返礼品に人気が出てきたためと思われる。農作物などと異なり季節に関係なく供給できることも人気の理由かもしれない。返礼品に採用する際には、奢侈品と判断されないか総務省と相談を行った。

「Mirapay（ミラペイ）」について

《記者からの質問》

市役所の窓口で使用できる Mirapay がスマホアプリ版だけなのは、市としてアプリ版の使用を推奨しているからなのか。

《回答》（市長）

システムがアプリ版にだけ対応していて、カードには対応していないから。カードを読み込めるようにすると設備投資額が大きくなるため、まずはアプリ版への対応からスタートした。

「魚津市制施行70周年記念シンボルマーク」について

《記者からの質問》

シンボルマークはどのように使っていくのか。

《回答》（市長）

市で募集している協賛事業で使ってもらったり、その他市のポスターや配布物、HP や SNS など色々なものに使っていきたい。